

令和５年度第２回理事会議事概要

日 時 : 令和５年５月１２日（金）１５：３０～１６：００
場 所 : 森林総合研究所特別会議室（つくば市）（ＴＶ会議併用）
出席者 : 浅野透理事長、森谷克彦理事、坪山良夫理事、箕輪富男理事、
関口高士理事、鶴田敏也理事、鈴木直子監事、高橋正通監事、
大政康史総括審議役、吉永俊郎総括審議役、畑茂樹審議役、
小林功企画部長、小林重善総務部長、林総合調整室長
（赤崎暢彦総括審議役はＴＶ会議で参加）

- I－１．令和５年度監事監査計画書について
高橋監事から本件の報告が行われた。
- I－２．令和５年度研究ディレクター・研究コーディネーターの業務分担
小林企画部長から本件の報告が行われた。
- I－３．林木育種センターにおける一般職員（大卒程度）の採用について（令和５年度追加採用）（非公表）
箕輪理事から本件の報告が行われた。
- I－４．令和４年度 原種苗木等の配布実績等について
箕輪理事から本件の報告が行われた。

【質問】

巷間、花粉症対策が話題だが、グラフでは花粉症対策品種が減少しているように見受けられる。

→ グラフでは特定母樹の中にも花粉症対策品種が約１,３００本含まれている。
また、特定母樹というものは従来型より花粉の量が半分以下の品種であり、
花粉症対策にも資するものとなっている。（箕輪理事）

需要の高まりが予想される中、今後も需要に応えられそうか。

→ 最近、閉鎖型施設の整備も行われたところであり、育苗期間短縮技術との
組合せ等により、増加する需要に対応できるよう検討していく必要があると
思っている。（箕輪理事）

- I－5. 令和4年度森林保険センターの業務実績について
吉永総括審議役から本件の報告が行われた。

【質問】

保険金支払実績から見たとき、国内における森林火災は増加傾向にあるか。

→ 去年は阿蘇で大規模火災があったので火災による支払額も多かったが、例年、火災による支払額は全体の1割弱と少ない。毎年、風害、水害、干害、凍害などの支払いが多いが、去年はこれらの災害が少なかったために火災の割合が高くなったものである。（吉永総括審議役）

- I－6. 「令和5年石川県能登地方を震源とする地震にかかる災害救助法の適用」にかかる森林保険事務の対応について
吉永総括審議役から本件の報告が行われた。